

報道関係各位

岩手県立大学

「令和元年度冬季全国大学国語国文学会大会（第120回大会）」の開催について

岩手県立大学を会場として、「令和元年度冬季全国大学国語国文学会大会（第120回大会）」を開催します。

全国大学国語国文学会は、「令和」を提案した中西進先生が創立したものです。中西先生は、本大会当日名誉会長として参加されます。

「令和」に改元された令和元年の本年に、本大会が岩手において開催されるのはとても貴重なことです。一般の方の聴講も可能であり、ぜひ多くの方にいらしていただきたく存じます。

つきましては広く周知くださるとともに、当日の様子を取材の上、報道くださいますようお願いいたします。

記

1 日時

令和元年12月7日（土）13：00～17：00
12月8日（日）10：00～15：20

2 場所

岩手県立大学滝沢キャンパス 講堂

3 内容

(1) テーマ

未知のものと出会うとき—文学におけるみちのくの発見—

【概略】

東北はかつて陸奥（みちのく）と呼ばれて、「発見」されてきた。それが東北と呼ばれるようになったとき、新たな「発見」となり、何かが失われ、何かが付加えられたのではないだろうか。あるいは、未知とされたものの側から、自らを未知のものと認識したのを見ることができたらどうなるだろうか。このシンポジウムでは「みちのくから東北へ」という問題を設定することで、「未知のもの」という視座から文学という営みをとらえ返してみたい。

(2) 詳細

次のウェブサイトから確認をお願いします。

〔全国大学国語国文学会〕 <http://www.nacos.com/kokubun/taikai.html#120>

4 留意事項

大学教職員から要請があったときには、その指示に従うようお願いいたします。

【問合せ先】岩手県立大学盛岡短期大学部国際文化学科 教授 松本 博明

TEL：019-694-2976（研究室直通）

Email：hmatumot@iwate-pu.ac.jp